

# 第10回 稲門建築会特別功労賞 朝日貞明氏（崔瓚卿）（工23、農25、苗27）



## 表彰理由：

朝日貞明氏は、1988年当時の稲門建築会松井会長との懇談の中で、稲門建築会ソウル支部創設を発意し、韓国にて発起人を集め、支部ではなく「韓国稲門建築会」を設立させた。初代会長嚴徳紋氏の下、幹事としてその後の会の運営に活躍、松井会長、石黒副会長、戸沼教授の訪韓、嚴徳紋会長の訪日、谷会長、尾島教授、中川教授の訪韓などに深く関わるとともに、韓国稲門建築会の名簿作成、更新に努力されるなど日韓交流に大きく貢献した。その後も、第2代会長尹鎔宇氏の下、韓国稲門建築会の動向について主として事務局に情報提供してきた。第3代会長朴彦坤氏誕生とともに、韓国稲門建築会会員の主体が、早稲田大学大学院留学生となったこともありパイプ役を辞されたが、韓国稲門建築会の設立に果たされた功績、その後の永年に亘るパイプ役として果たされた功績は、今日の日韓稲門建築会の交流の礎をなすもので、高く評価されるものである。

（推薦者：尾島俊雄）

## ◎経歴：

- 1952年～1954年 清水建設株
- 1954年～1960年 石井勇建築研究所、国際建築設計事務所
- 1960年～1986年 (有)朝日建築設計事務所設立
- 1986年～2000年 韓国ソウルに事務所移転、2000年3月解散
- 1986年～2000年 金重業総合建築事務所 顧問
- 1987年～1995年 現代重工業株 顧問

**支部** 建築に関するシンポジウムを韓国稲門建築会

昨下益ますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は私どもの会の活動に、ご支援とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

昨年の9月に早稲田建築5冊、また11月に早稲田建築ニュース各50部をお送り下さりまして、誠に有難うございました。私共の手違いと、私かしばらく米国に所用で出掛けておりました、お礼が遅れましたことを深くお詫び申し上げます。

さて、私どもの会も、お蔭様で創立して6年目を迎えることになりました。4月9日に、ソウルの中国城で定期総会を持ち、ソウル在住29名中16名が出席し、会員相互の親睦を深めました。次回は10月頃、野遊会を予定しております。何分にも、6年目の少年期ですので、格別のご指導とご協力をお願い致します。

総会時に提案されたことですが、台湾にも稲門建築会が出来るとの話を聞きました。親睦も大事なことです。日本・台湾・韓国の稲門建築会共賛で、2年に1回ごとに、建築に関する発表会を、持廻りで開催して見ては如何かなものかと思っております。何かの機会にご検討下されば幸甚と存じます。

最後に、母校と稲門建築会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

まずは、書中をもっておわび等々お礼を申し上げます。 敬具

'93年4月  
韓国稲門建築会会長 嚴徳紋



第3回韓国稲門建築会総会にて

**韓国稲門建築会 設立**

の会員の方がたのご活躍を期待したいものです。なお、韓国稲門建築会の事務局は、ソウルにある早稲田大学韓国同窓会内にあります。

事務局：SEOUL特別市鐘路区唐珠洞100世鐘BLDG, 207号

会長 嚴徳紋(嚴・李進燾연구소 회장)  
 副会長 善明(正一孝賢建築事務所 소장)  
 \* 金照組(故金重業総合建築事務所 부사장)  
 顧問 建床(前 국회의원)  
 幹事 李元澤(正一孝賢建築事務所 대표)  
 \* 崔瓚卿(朝日建築設計事務所 소장)  
 \* 盧三圭  
 諮問위원 姜明求(成都建築設計事務所 소장)  
 \* 成性權(漢陽大 명예교수)  
 \* 林憲彦(英商韓進建設事務所 소장)  
 \* 朴泳俊(前국회의원)  
 \* 金一(漢陽大 교수)  
 \* 張明珠(全北大 환경대학원장)

8月に稲門建築会事務局の伊藤むつみさんがお辞めになり、代わって堀田真紀さんが事務を引き継がれました。伊藤さん、長い間ありがとうございました。堀田さん、よろしく願っています。

報告 崔瓚卿

**韓国稲門建築会会長 嚴徳紋氏総会に出席さる**

韓国稲門建築会が、一昨年の昭和63年4月に創立され(会員40名)、昨年4月、ソウルのロッテホテルで、創立1周年記念総会を開催しました。

その時、早稲田の本校より、当時の稲門建築会会長であった松井源吾先生、および石黒哲郎副会長、戸沼幸市理事をご招待申し上げ、記念講演をして頂き、お陰で盛況な記念総会をもつことができました。

その時の話にもあり、今回、韓国稲門建築会を代表して、嚴徳紋会長が6月6日に来日し、6月7日の稲門建築会の通常総会に出席されました。

嚴徳紋韓国稲門建築会会長は、昭和18年9月に早稲田大学付属高工建築科を卒業され、韓国に戻られて、建築の設計界や教育界において幅広く活躍されており、今年は大韓民国建築大賞の委員長をされています。

本校の稲門建築会総会には、始めてのご出席でしたが、谷賞信会長をはじめ会員みなさまの温かいおもてなしを受け、また、知っていられる方も何人かおられて、昔を偲ばれ感無量の様子でした。

確かに、韓国にいる早稲田出身の多くの人々は、早稲田で学んだことを誇りとして、各界に主導的役割を果たして、頑張っていると思います。

嚴徳紋会長は、急用のため一時は総会に出席できないのではと、危ぶまれていましたが、幸い出席できたことを大変喜ばれておられました。

今後より一層、両国の稲門建築会の交流が、順調に発展することを願ってやみません。

●  
なお、8年前、早稲田大学100周年記念のとき、早稲田大学韓国同窓会(会員2,500名)よりエミレーの鐘(本名:聖徳大王神鐘/高さ2.1m・直径1.2m・重さ1,500kg)を寄贈したことがありました。大隈会館で総会が始まる30分ほど前のことです。嚴徳紋会長は、韓国同窓会の副会長もされており、ゼビエミレー(お母さんと)、戦前学校で教えをうけた武基雄先生のお元氣なお姿を拝見し、40数年前のことを懐かしく思い出されたのでしようか。いまは亡き「内藤先生・今井先生・佐藤先生・十代田先生・鶴田先生などの恩師が、今ここに座っておられるような気がする。私が韓国で、昨年、文化芸術賞の授賞など、建築界に幅広く活躍できたのも、こうした優れた早稲田の諸先生方に学ぶことができたからだと思うと、韓国の鐘などは喜んで、感慨わががらに

この状態だと、大隈会館周辺の新しいプロジェクトに巻き込まれ、どうかなってしまわないかと心配です。韓国の早稲田同窓生の心のこもった鐘です。ご配慮のほどをお願いします。

90年8月発行 稲門建築会ニュース26より

活躍する 韓国稲門建築会

世界最初の「韓国稲門建築会」は、1988年4月にソウルに創立され、1周年記念総会を開催しました。この総会には、早稲田大学から松井源吾会長、石黒哲郎副会長、戸沼幸市理事がご招待され、盛況な総会となりました。

韓国稲門建築会は、創立1周年記念総会を開催しました。この総会には、早稲田大学から松井源吾会長、石黒哲郎副会長、戸沼幸市理事がご招待され、盛況な総会となりました。

韓国稲門建築会は、創立1周年記念総会を開催しました。この総会には、早稲田大学から松井源吾会長、石黒哲郎副会長、戸沼幸市理事がご招待され、盛況な総会となりました。